



国立病院機構（NH0）宇都宮病院院内広報誌

わがあゆ

WAKA-AYU



基本理念

- 1 私たちは、政策医療ならびに地域ニーズに応じた一般医療をおこないます。
- 2 私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心の医療をおこないます。
- 3 私たちは、良質で安全な医療を提供します。
- 4 私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

目次

20 秋 11

第21号

広報誌／年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 23年 10月 1日
発行責任者：沼尾利郎

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ■ 病棟建替計画について …… 1 | ■ 重心病棟花火大会 …… 4 |
| ■ 福島へ医療チーム派遣 …… 2 | ■ ニューフェイス・インタビュー …… 5 |
| ■ 骨密度測定装置について …… 3 | ■ 外来診療担当医表 …… 7 |
| ■ 薬袋変更について …… 3 | |

NHO宇都宮病院の病棟等建替計画について

事務部企画課長 小 峰 邦 弘

当院にとって長年の夢でありました病棟の建替計画が進んでおります。東日本大震災により当院も甚大な被害を受けたこともあり、地震に強い免震工法で建築されます。

今回の建替計画は、投資資金の関係で病院全体までとは行かず、外来管理棟、西1・2・3病棟、サービス部門は、次の建替計画となります。

今回の建替計画の内容は、免震工法による6階建て、1・2階が重症心身障害児(者)病棟(各々50床)、3階が手術室(5室)、4階が一般(整形)病棟(60床)、5階が呼吸器(30床)・結核(30床)のユニット病棟、6階が機能訓練室となっております。

病棟新築のコンセプト

1. 質の高い医療環境 ●安全で業務効率の良い設備・構造 ●院内感染防止を重視した導線・設備
2. やすらぎの療養環境 ●プライバシーやアメニティに配慮 ●地域社会や周囲の自然環境に配慮
3. 変化に強い施設環境 ●災害に強い設備・構造 ●省エネやエコロジーに配慮



国立病院機構 宇都宮病院 病棟等建替整備工事 完成イメージ図

現在は設計段階で、完成は平成25年中の予定です。

我々職員は、今、職員一致団結し、大きな夢を持って、更に数年後の全面建替計画に向かって頑張っているところです。今後とも患者様の目線にたった医療が提供できるよう努力します。

また、当院の周辺は、この建替が終了する頃には、ガラリと一変していることでしょう。と申しますのは、宇都宮市の事業で、①岡本駅西地区の土地区画整理事業と②まちづくり事業が推し進められているからです。これらの事業は、当院の周辺道路に大きく影響し、当院の東側道路が土地区画整理事業で、南側道路がまちづくり事業で、それぞれ大きく拡幅され、歩行者の安全が確保される予定です。

さらには、当院には広大な森林が存在し、自然環境の素晴らしい病院敷地となっています。この森林は職員の努力だけでなくボランティアの方々の御協力により保たれておりますが、限られた人力で良好な状態で管理していくのは至難の業でもあります。地域の皆様の貴重な財産でもあり、患者様や我々職員の財産でもあります。この森林を有効活用するために、エコロジーを目指す企業等の協賛を頂き、「おかもとの森ホスピタル公園」(仮称)として継続的に管理できればと考えているところです。



福島第一原発事故による住民の 一時立入り(帰宅)における 医療班派遣に行ってきました・・・



西3病棟 副看護部長 高橋 規子

7月6～7日の2日間、福島県川内体育センターにおいて、一時立入り(帰宅)住民(2日間で444名)の方々の、体調不良や傷病に対応をしてきました。「どんな所でどの様な対応をしているんだろう？」富岡町の人達、東電の職員、自衛隊は等々様々なことを考えながら現地入りしました。何をしたいのやらさっぱりわからないまま住民の方々が次々やって来て、東電職員から説明が始まり、館内には緊張感が漂っていました。テレビを介して見ていた光景が現実には起きていた事に私も緊張してしまいました。

広島大学病院の方々と一緒に帰宅前の問診表のチェックを行いました。高齢の方や高血圧、糖尿病などの病気ををお持ちの方は直接お話をうかがい対応し、着々と準備が整い見送りました。帰館後はサーベイチェック、問診表の回収、傷病者の対応とあわただしく終了しました。長袖、長ズボン着用し、タイベック装着するとかかなり暑い様子でした。しかも気温が上昇する時間に帰宅して行くため、熱中症になる方々が増えると考えましたが、症状があってもバスの時間に遅れると他の方々に迷惑になると考えて、訴えてこれられない方が多かったようです。

避難者3万人のうち、7月7日までで13,000人が一時帰宅しましたが、まだまだ帰りたくても帰れない人達を思うと、災害にはあったけれど何不自由なく過ごせ、生活出来ている私たちは当たり前の日々感謝しなければいけないと思いました。その様な中で住民の思いを知ることができました。「こんな事故がおきてしまったけれど東電に対して文句は言えない。富岡町は過疎の町で、東電のおかげで生活できている。でも自分の家があるのに、帰りたくても帰れない。どうすることもできないのがいたたまれない・・・」と。そして東電社員の対応は、痛々しさが伝わってくるぐらい住民ひとり一人に対応していました。双方を目の当たりにして心が苦しく私にとってもつらいものでした。また、ペット保護の方々も一生懸命で、帰宅している間に犬や猫を預かりました。立入り禁止区域内で、放浪していたわんこ1匹無事保護できたようです。原発事故から半年が過ぎた9月20日、川内村(20km圏内)のマイカーでの一時帰宅が開始されました。

様々な職種が様々な現場で、復興に向けて頑張っています。それぞれの立場で「私たちに出来ることは何か」を考え行動し、あたりまえの日々に感謝することを忘れない事が、大切であると改めて感じさせられた2日間でした。



一時預かりしたペット(犬)のくろペー



広島大学病院の方々と集合写真

当院の医療班 後列／【左端】企画課 高澤、【右端】伊藤 医局長
前列／【左】筆者、【右】薄根 副看護部長

骨密度測定装置を更新しました

診療放射線技師長 松崎 宏

当院では、2011年3月よりX線骨密度測定装置をホロジック社製 Discovery Ciに更新しました。

近年、高齢化社会にともない、骨折の原因となる骨粗鬆症への関心が高まっています。骨粗鬆症骨折の中で大腿骨頸部骨折と腰椎の椎体骨折は寝たきりの原因ともなります。骨密度測定は腰椎正面、大腿骨頸部の骨密度を測定することで、最も直接的に骨の状態を評価することができます。

骨密度を測定することは、骨密度の減少を早期に発見し、骨折の原因となる骨粗鬆症の予防や適切な治療を行うことを目的としています。

骨密度測定にはX線や超音波、CT スキャン等を用いた様々な測定法がありますが、当院のX線骨密度測定装置は、骨粗鬆症の診断および治療効果の判定に最も多く使用され精度に優れているDEXA法（二重エネルギーX線吸収測定法）を用いた骨密度測定装置です。

DEXA法とは、二種類の異なるエネルギーのX線を用いることによって、筋肉や脂肪などに関係なく骨成分だけを測定する方法です。

検査時間は、腰椎正面、大腿骨頸部の2部位で約10分程度仰向けに寝ていただくだけです。息を止める必要もありません。

これらの測定、解析作業をすべて含めて、約30分程度ですみますので、その日のうちに結果を出せます。

特に着替えは必要ありませんが、測定する部位に洋服の金具・シップ・エレキバン・カイロ等がある場合は外していただきます。

旧装置に比べ測定時間が大幅に短縮され、患者さんへの負担が軽減されています。

どうぞお気軽に担当医にお申し付けください。



新しくなったお薬の袋について

薬剤科 佐藤 朋之

暑い日々も終わり、気づけばもう秋ですね。季節の変わり目は気温差も大きくなりますので、風邪には気をつけてください。さて、今回は薬剤科より、新しくなったお薬を入れる袋である「薬袋」についてご紹介したいと思います。

まず、当院で扱っている薬袋は「内服薬」、「外用薬」、「頓服薬」、「注射薬」の4種類と内服薬、外用薬等の容器に貼るシールがあります。（写真参照）



では、変わった点は何か？

- ・ 手書きから印字になったため、見やすくなりました
- ・ 必要な事項のみ印刷できるので、以前より注意喚起、服用方法などがわかりやすくなりました
- ・ 右上にお薬の名称が印字されるので、中に入っているお薬が何かわかるようになりました

また、10月からは窓口にて、お薬と一緒にお薬の説明書もお渡ししています。このため、どういう効能のお薬をいつ、どのように、いくつ服用するのかわかりやすくなり、またお薬の管理もしやすくなることから、薬を服用する際の手助けになるとと思います。

最後に、患者さんにとってよりよい薬剤科となるよう今後も努力して参りますので、よろしくお願い致します。

今年は盛大な花火大会



重症心身障害病棟 療育指導室 保育士 野中 令子

8月30日西5病棟西側広場において重症心身障害病棟恒例の花火大会が行われました。75名の利用者と33家族、イベントボランティアを含む50名程のボランティア、病院職員・学校職員を含め180名以上が参加し盛大に行うことができました。昨年度までは病棟ごとの家庭的な花火でしたが、今年度は沢山のボランティアの協力により2病棟合同で行うことができました。

18時30分スタートの合図でロケット花火・パラシュートが打ち上げられました。

前座のイベントはシルバー大学の学生による「アフリカンダンス」です。顔や手足にペインティングし腰箕や衣装をまとい迫力あるダンスを披露して頂きました。

花火会第1部は昨年同様家庭的な花火を中心に行いました。夜空に光る色とりどりの打ち上げ花火、吹き上げ花火に利用者も釘付けでした。その後、ひとりひとりに手持ち花火が配られ優しい光を楽しんだ後、第2部は花火専門店から購入した大型花火を行いました。初めての大型花火にみんなわくわくドキドキです。4m～5mに吹き上げられた花火には歓声が沸き上がりました。打ち上げ花火は真っ暗な夜空に花を咲かせました。いよいよフィナーレのナイアガラです。なが～い導火線に火を付けるとあっという間に吹き出し口に火がつかしました。一瞬にして場内が明るくなり赤・青・黄色に変化していくナイアガラの滝を息をのみしばらく見入っていました。

大型花火の導入と多くの皆様のご協力で夏の終わりの一夜を楽しく過ごすことができました。皆さんありがとう。また来年も楽しみにして下さい。



病院ボランティア募集

当院では、外来患者さまのご案内、院内外の環境整備（清掃・除草等）などをしていただける病院ボランティアの方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先：病院管理課まで（電話：028-673-2111 内線141）

外 来 診 療 担 当 医 表

(平成 23年 10月 1日現在)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)						
内 科		沼尾 利郎／ 吉川弥須子	塩原 香苗	眞塩 一樹	田坂登司博／ 沼尾 利郎	崎尾 浩由
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	森 豊	太田 怜	佐藤 稔	鈴木 國弘
	午後	佐藤 稔	太田 怜		佐藤 稔	
神 経 内 科	午前	伊藤 雅史			高嶋良太郎	
	午後	伊藤 雅史			高嶋良太郎	
消 化 器 内 科	午前	坪内美佐子	菅谷 洋子	稲葉 直也	眞島 雄一	菅谷 洋子
	午後	坪内美佐子	菅谷 洋子			菅谷 洋子
循 環 器 内 科	午前		伊藤 致	阿部 力		
	午後	西野 節	伊藤 致	阿部 力		
呼 吸 器 科	午前	安西真紀子	沼尾 利郎	田坂登司博	野村 由至	吉川弥須子
	午後	安西真紀子	沼尾 利郎／ 塩原 香苗	田坂登司博	野村 由至	吉川弥須子／ 崎尾 浩由
腎 臓 内 科	午後				岡田和久(2・4週) [予 約 制]	
小 児 科	午後		影山さち子 (予防接種) [予 約 制]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予 約 制](第2・4)	
小 児 神 経 外 来	午後	奥野 章(3週) [予 約 制]				
外 科	1 診	増田 典弘	伊藤 知和	滝田 純子	増田 典弘	伊藤 知和
	2 診	伊藤 知和	大塚 吉郎	増田 典弘	山口 悟	熊倉 裕二
整 形 外 科	1 診	田中 孝昭	茶藷 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)	茶藷(第1・3・5週) 石川(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	祭 友昭		祭(第1・5週) 茶藷(第2・4週) 熊谷(第3週)		祭 友昭
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藷 昌明	茶藷 昌明	熊谷 吉夫
装 具 外 来	田中 孝昭					熊谷 吉夫
歯 科(入院患者のみ)			渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
禁煙外来(保険外)(午後・予約制)						沼尾 利郎
眼 科(午後・予約制)						松原 忠之／
						永田万由美／ 和泉田真作
皮 膚 科(午後・予約制)			小田佐智子			
耳鼻咽喉科(午後・予約制)	久保木章仁					

外 来 受 診 案 内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・物忘れ外来・禁煙外来は、地域医療連携室にて電話予約を受け付けています。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374 (直通) FAX 028-673-1961 (直通)
担当(ソーシャルワーカー): 永山悦子・宇梶多恵(内線133)



独立行政法人(NHO)

国立 病院 機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<http://www.hosp.go.jp/~utsuno/>